

おおむたの 新しい総合計画づくり まちづくり市民ワークショップニュース

発行：2014 年 9 月 大牟田市企画総務部総合政策課
大牟田市有明町2丁目3 0944-41-2501



にぎわい



各種イベントやイベント施設の充実
大牟田の祭りをしっかりPR
十代と大人が同等に議論できる仕組み
観光資源を活かした商店街

くらし



医療の充実 ゴミがない 自然観察
若者と高齢者のつながり あいさつ
高い防災意識 気軽に声かけ 笑顔
市民全体で保全 多業種の連携
働く場所がたくさんある

互いに語り合う中で
いろんなキーワードが生まれました
その一部を紹介します

やさしさ



地域の見守り 安心安全
生きがい つながる
誰でも 人材発掘 情報
知識や経験を活かす
地域全員参加
ふれあう機会づくり
あなたにもできます！！

はぐくみ



誇り 市民力 育てる 語り継ぐ
対話 価値観共有 まち歩き
思いやり 文化 歴史を知る
希望 相互理解 魅力づくり
興味 楽しさ 地域力向上

第4回ワークショップ

日時：平成 26 年 9 月 27 日（土）
午前 9 時 30 分～正午
場所：市民活動等多目的交流施設「えるる」
2 階 小・中研修室

第 4 回まちづくり市民ワークショップでは、参加者 31 名の方々に、第 2 回及び第 3 回で意見交換した 2 つのテーマごとに、将来像を考えていただき、いろいろな視点からの「将来の大牟田のまちの姿」が現れてきました。

このまちづくり市民ワークショップも、前半の 4 回が終わりました。後半は、11 月 30 日(日)からスタートです。将来像に向かって何が必要なのかをみんなで考えていきます。

当日の流れ

1. 主催者挨拶
2. オリエンテーション
3. ワークショップ
テーマごとの将来像を考える
4. グループごとの意見まとめ・発表

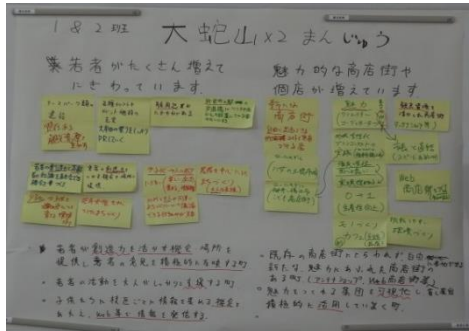
1 班&2 班 大蛇山×2 まんじゅう

- ◆若者が創造力を活かす機会・場所を提供し、若者の意見を積極的に反映するまち
- ◆若者の活動を大人がしっかりと支援するまち
- ◆子どもたちに校区ごとに情報を集める機会をあたえ、Web等で情報を発信するまち

(テーマ：若者がたくさん増えてにぎわっています)

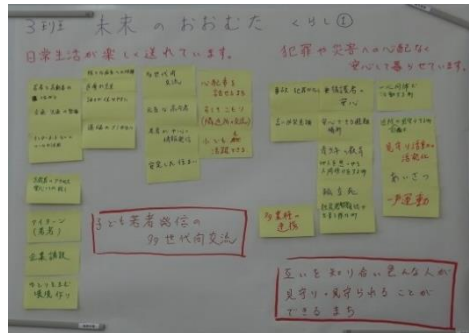
- ◆既存の商店街にとらわれず、自由に参加できる新たな魅力にあふれた商店街のあるまち（アンテナショップ・Web商店街・貸し屋台等）
- ◆魅力をつくれる集団を可視化し、積極的に活用していくまち

(テーマ：魅力的な商店街や個店が増えています)



「若者の力をどう活かすか」という意見に対し、活発な議論がなされました。新しい発想や魅力にあふれた商店街のためにクリエイターなど魅力を作れる人たちを集め、活用していくことが必要だという意見が出ました。

みんなで考えた



3 班 未来のおおむた

- ◆子ども若者発信の多世代間交流

(テーマ：日常生活が楽しく送れています)

- ◆互いを知り合い、色んな人が見守り・見守られることができるまち

(テーマ：犯罪や災害の心配がなく安心して暮らせています)

ひとつめのテーマで着目した点は「多世代間交流が必要である」ということ。サロン活動など高齢者中心のイベントが多いのが現状だが、まちが元気になるためには若者が元気になることが必要。子供たちの呼びかけでおいちゃんおばあちゃんも笑顔になると思います。

ふたつめのテーマのキーワードは、民生委員や福祉委員、新聞配達の方など「異業種の連携」。ネットワークを持つことで互いを知り、互いの情報がキャッチでき、見守り見守られることができると思います。

4 班 有明の夕日

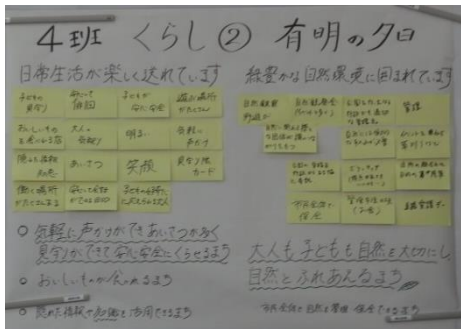
- ◆気軽に声かけができあいさつが多く、見守りができて安心安全にくらせるまち
- ◆おいしいものが食べられるまち
- ◆隠れた情報や知識を活用できるまち

(テーマ：日常生活が楽しく送れています)

- ◆大人も子どもも自然を大切にし、自然とふれあえるまち

- ◆市民全体で自然を管理・保全できるまち

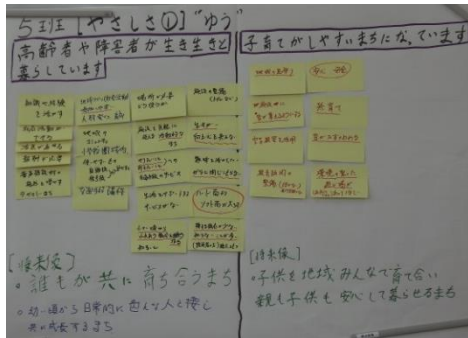
(テーマ：緑豊かな自然環境に囲まれています)



ひとつめのテーマでは、気軽に話しかけられる関係を作ることが、安全安心に暮らすことにつながるのではないかとことから、大人も子供もあいさつをすることが必要だという意見が出ました。

ふたつめのテーマでは、ボランティアや管理する組織など行政だけではなく、市民みんなで管理できるようになること、また、そのために自然と触れ合う機会をつくることが大切だという意見が出ました。

将来の大牟田のまちの姿 大公開！



5 班 ゆう

- ◆誰もが共に育ち合うまち
- ◆幼い頃から日常的に色んな人と接し共に成長するまち

(テーマ：高齢者や障がい者が生き生きと暮らしています)

- ◆子どもを地域みんなで育て合い、親も子どもも安心して暮らせるまち

(テーマ：子育てがしやすいまちになっています)

ひとつめのテーマでは、人と人とのつながりの大切さについて意見が出ました。小さい頃からいろいろな人と接することで分かり合えることが、いいまちづくりの一步になるのではないかとという結果に至りました。

ふたつめのテーマでは、「安心・安全」が第一であり、子育てや孫育てを含め地域の見守りがあれば安心できることから、いろいろな人が関わりみんなで育てられる環境が大事だと思いました。

6 班 大蛇山らーめん

- ◆高齢者や障害者が主役となり、地域の交流を通して、役割がもてるまち
- ◆誰でも安心して外に出られるまち

(テーマ：高齢者や障がい者が生き生きと暮らしています)

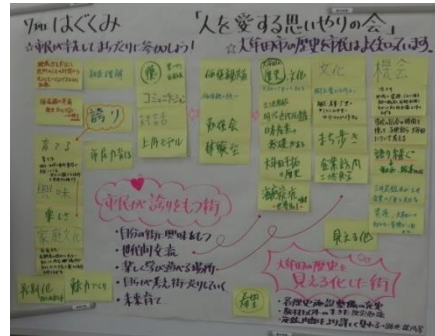
- ◆地域全体が自然とつながるまち

(テーマ：地域での見守りが行き届いています)

グループには生き生きと地域で過ごされている人が多く、地域の交流を通して一人ひとりが役割りを持っており、今後の大牟田を考えるときに必要なことではないかという意見が出ました。

交通の便が不自由になってきていますが、外に出ることは重要であり、安心して外に出て行けるようになれば生き生きと暮らせるのではないかとという話になりました。

今まで当たり前にあった人と人とのつながりが薄れている今、自然とつながれる環境が必要ではないかという意見が出ました。



7 班 人を愛する思いやりの会

- ◆市民が誇りをもつまち

自分の街に興味をもつ 世代間交流 楽しく学び遊べる場所

自らが考え街づくりしていく 未来育て

(テーマ：市民が率先してまちづくりに参加しよう)

- ◆大牟田の歴史を見える化したまち

各歴史施設整備の充実 教材以外の生きた歴史勉強

炭鉱内部をより詳しく見れる→跡地・鉱内等

(テーマ：大牟田市の歴史を市民はよく理解しよう)

誇りを持つことが一番重要だということになりました。そのためには、「育てる」ことが重要で、「育てる」ためには楽しさを理解し、自分で興味を抱くようにするべきと考えました。

歴史を知ってもらうために絵本や動画など「見える化」すると、もっと興味を持ってもらえるのではないかとしました。